

TOPへ <http://www.hi-ho.ne.jp/okajimamic/>

T611

## 美容外科弊害の規制に取り組むドイツの現状

ドイツでは卒後研修規則や医師職業規則により通常の専門医の卒後研修やその標榜などは厳格に規制されている。しかし、豊胸術や脂肪吸引のような美容外科に関する処置とその実施者については、そのような規制の枠外に置かれているため、誇大な宣伝や不適切な手術による弊害が目立っている。一方、美容外科を利用する人が急速に増加しているため、2年ほど前から医師会、政治家、行政でその対策が講じられるようになってきた。

筆者はドイツ医師会雑誌がオンラインで配信するニュースを眺めているが、その中から美容外科に関するものを集めて以下に紹介することにした。この問題は美容外科という一領域の問題だけに留まらず、医療の問題点に取り組むドイツ全体の姿勢が窺えるという点で大きな意味がある。

紹介に当たって、筆者が総説的にまとめるよりも、個々のニュースをそのまま紹介した方が現実的かつ客観的であると考えた。ドイツ医師会のオンライン・ニュースは週に70本ほど配信されるが、その内容は題名をみて一つひとつダウンロードしなければならない。そして6週間経過するとウェブサイトから削除される。筆者は美容外科のニュースに対して、卒後研修や職業倫理という面で興味を感じ、その多くをダウンロードしてきたので、以下のような資料を提供できることになった。しかし、手が回らないため過去数ヶ月のニュースの中にまだ開いてないものもあるので、このほかにも関連ニュースがあるかもしれない。また、今年5月に開催されるドイツ医師大会において、美容外科の卒後研修について更なる進展が見られるかもしれないが、それらについては後日追加報告したいと思っている。

もし、ニュースの原文が必要でしたらご連絡下さい。

2006年5月5日

岡嶋道夫

### 2004年2月19日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

政党CDU/CSUは美容外科の専門医教育を厳しく要求した。CDUの2名の代表(Connemann & Heinen)によると、患者は増え続けるのに、医学的リスクが上昇しているからという理由である。ここにも消費者保護が必要である。今までは、事故のような場合に医学的に必要な侵襲を専門的に扱う形成外科の専門医教育がなされてきただけある。

CDU/CSUによると、コスメチックな修正(手術のような)はますます大きな意味をもってきている。2001年には約400,000人のドイツ人が自分の美容のためにメスを受けた。2002年は800,000人より多い。2003年は百万人を超えると予想される。この問題はとくに若い世代における現実である。

CDUのこの2名の政治家は、美容外科が法的に医師会が規定している卒後研修の枠外で発展してきたことを問題にしている。医師免許を取得した医師であれば誰でも脂肪吸引や豊胸術を実施することができる。また美容手術を提供する多数の専門機関は医師の監督の外にある。これを監督するのは国の保健医療の役所と営業監督局だけである(記者注:ドイツでは医師や専門医を監督するのは州医師会であって、行政機関ではない)。

#### 2005年1月21日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

ドイツの美容外科は将来その手術を宣伝できないようにすべきである。このことが新しい療法宣伝法の連邦参議院草案で規定されている、とビルト誌は1月21日に報じた。

医学的必要性のない美容外科的侵襲、例えば体型を良くするためのインプラントによる乳房拡大と脂肪の吸引、が禁止に該当するだろう。このような侵襲が健康を著しく障害するリスクを持つということが理由として述べられている。

#### 2005年2月10日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

ヴェストファーレン・リッペ州医師会は美容手術の宣伝禁止を要求した。医師会は、クリニックや医師が、乳房拡大、鼻の修正または脂肪吸引が簡単でリスクがないと宣伝することは、医師職能集団として甘受できないと州医師会長(Flenker)は2月10日に宣言した。若い人たちが形成外科の方法によって外形や生活が快適になるとサジェストされてはならない。

ヴェストファーレンの医師会長は、2004年秋の連邦諸州の主導にもかかわらず政治が今までで反応しなかったのは理解できないとしている。療法宣伝法の宣伝制限は、今まではまともな医学的処置にだけ適用されてきたと州医師会長は述べている。それは、必要ないのに使われて大きなリスクをしばしば伴う治療法にも適用されなければならない。

#### 2005年2月11日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

連邦政府は、美容外科が人を惑わし暗示するような宣伝をしているのを将来禁止しようとしている。連邦保健省によると、例えば手術の前後の写真を示すことは不可能となる。薬事法の改定により、医学的に必要でない美容手術の宣伝は制限されることになると2月11日に保健省のスポークスマンが述べた。これにはインプラントによる乳房拡大や脂肪吸引などが該当する。

保健省スポークスマンによると草案は採決された。違反は故意か過失かによって、1年以下の禁固刑または50,000ユーロ以下の過料として処罰される。

連邦保健大臣(Schmidt, SPD)は、侵襲の急速な増加を見ていると、その処置を正当なものであるとした。コスメチックな手術も外科的侵襲であり、全く危険がないものではない。したがって、美容手術はあらゆる面で刷新されるまでは、問題なく可能なものだというような宣伝をすることは許されない、と大臣は強調した。

連邦医師会長(Hoppe)もこの計画を歓迎し、「私たちは子供たちが美容幻想を試みることから守らなければならない」と述べた。禁止によって「倫理的境界線を法的に守らなければならない」。

ドイツ形成-エステ外科学会の会長(Kleinen)は早い反応に反対し、「堅実な外科として助言の場合の補助としての写真を将来捨てることはできない。フランス、スペイン、英国などで許されていることが裁判の対象となることは許せない。最終的にはブリュッセルの最高裁判所の決定としなければならない」と述べた。

ヴェストファーレン誌によると、ドイツでは年に約 300,000 の美容手術が行われ、増加傾向にある。5 分の 1 は男性からの依頼による。

#### 2005 年 3 月 4 日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

美容のためにメスを受けるドイツ人は増加している;ドイツ形成外科団体(Vereinigung der Deutschen Plastischen Chirurgie, VDPC)とドイツエステ-形成外科団体(Vereinigung der Deutschen Ästhetischen-Plastischen Chirurgie, VDÄPC)によると昨年 700,000 の侵襲があった。

両協会は 3 月 4 日にベルリンでつぎのように述べた。1002 年には 660,000 の美容手術があった。2004 年には美容手術の多い国ではドイツは 6 番目である。トップは米国で、メキシコとブラジルがこれに続く。

ドイツの侵襲の約 10 パーセントは小児または若年者である。VDPC と VDÄPC の発表によると、その大多数は起立した耳の修正であった。両協会は、形成外科の全ての手術が美容だけではないと強調した。(訳者の耳も起立しているため、マスクをしてベッドで横向きになると、耳が前に倒れるためマスクの紐は外れてしまう)

VDPC の Eisenmann-Klein は、侵襲の 25パーセントだけが純粋にエステ的なものであったと述べている。大部分は病気または外傷後に必要となった形成手術を扱っている。

#### 2005 年 5 月 6 日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

第 108 回ドイツ医師大会(訳者:ドイツの全医師を代表する会議で、医師に関する最重要事項を審議決定する)は、卒後研修規則(雛形)にある専門医称号「形成外科」に「エステ(美容)」を加えることを議決した。新しい称号は「形成及びエステ外科専門医」となる。「形成外科専門医」のための医師会で認められた 6 年間の卒後研修を受け、資格を認められた専門医だけが使用できる。

専門医称号の拡大によって、エステ侵襲がこの資格の一部になることが明白となる。「エス

テ外科」という付加は、患者が高度の資格を有する専門医と自称美容外科医を区別しやすくなるという透明性を、ドイツ医師大会の意思によって作り出したことになる。(エステ外科とは違う)「美容外科」または「コスメチック外科」の名称は自分で選ぶ称号ということになるので、保護されたものではない。

新しい専門医称号は、州医師会が州の卒後研修規則を変更して書き加えたときから採用される。バイエルン州医師会は、すでに1年前から「形成外科」に「エステ外科」を付け加えている。

何人かの代議員は異なった意見を述べていた。例えば、ノルトライン州医師会の代議員は、このような専門医称号の拡大は、医学における「美的感覚」を形成外科だけの宣伝効果的にしてしまう、と批判した。今まで「エステ医学」の名称は皮膚科医、眼科医、婦人科医、耳鼻咽喉科医、口腔顎顔面外科医及び外科医によって幅広く用いられてきた。

バイエルン州の代議員は、それぞれの専門医グループは業務領域で機会均等で参加すべきであると指摘した:「これはメニューシステムの形の中で効果的にすることができる、つまり「形成手術」の付加的卒後研修を個々の専門医グループで規定すればよい。」

しかし医師大会の過半数は、連邦医師会の委員会がもっと詳細に問題に取り組むべきであるが、もっと踏み込んだ内容を規定するには早すぎるという見解であった。美容手術に関する卒後研修規則の変更のための具体的提案は、次のドイツ医師大会 2006 年に討議されることになる。

#### 2005 年 5 月 23 日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

ドイツエステ外科協会(Gesellschaft für Ästhetische Chirurgie Deutschland e.V., GÄCD)は第108 回ドイツ医師大会が形成外科の専門医称号を補ったことを歓迎している。専門医称号「形成外科専門医」は将来「形成及びエステ外科専門医」となる。

「これは患者がジャングルの中で指名された美容外科医を自分で見つける大きな助けになる」と会長(Bull)は述べた。その協会は、患者の保護のために既に長い間エステ外科の領域における統一的な規定を要求してきた。鼻形成による美容整形、乳房拡大及び脂肪吸引を、患者に対してきわめて低い副作用リスクで、同じように高い質で手術できる専門医は現在いないであろうと会長は補足した。それには多数の経験とともに高い手術割合も含まれる。会長は、傾向は明らかに専門主義に向かっていると述べた。したがって GÄCD は患者に最高の治療を提供するために、専門医グループの学際的共同作業を促進している。

#### 2005 年 7 月 8 日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

美容手術に誤解を生じさせたり暗示的になるような宣伝は、ドイツでは将来禁止される。薬事法の該当する改定は、7月8日に連邦参議院で議決された。それによると美容手術は療法宣伝法(HWG)の適用範囲となる。

それにより、美容手術に対する宣伝は著しく制限される。例えば、いわゆる事前－事後－写真は将来禁止される。乳房拡大や脂肪吸引のような医学的に必要でない美容手術は大きな健康リスクと結びついていると連邦保健省は述べている。

連邦保健省の述べるところによると、治療がそのような効果を持っていない、あるいは結果が確実に期待できると誤った印象を与えるときには、誤解をもたらす宣伝ということになる。

将来それに違反すると、故意の場合は 1 年以下の禁固、または罰金刑となる。過失による違反のときは 20,000 ユーロ以下の罰金刑となりうる。さらに法律は、経験的に事実在即しない影響があったり、あるいは公衆を迷わせる可能性のあるような宣伝様式を禁止している。

### 2005 年 11 月 3 日 ドイツ医師会雑誌オンラインニュース

ロンドン。NHS(National Health Service)の英国の専門医と病院医師は、私的(国営の NHS ではないという意味と思う)に行われた美容手術が希望どおりの結果をもたらさないでコンプライケーションが生じたという数百人の患者を毎年手術しなければならない。このように英国医師会 BMA は述べている。安いお金で手術を受けるために外国に旅行する英国の患者が増えているが、これがしばしば問題を起こしている。

国営の二つの大きな教育病院の NHS の専門医は、どれだけの私的患者が美容手術に失敗したあとに、私的外科医の医療過誤を直すために国営病院にやってくるかを調査した。London Royals Free Hospital では年平均 25 人の患者であった。これは Chelsea & Westminster Hospital (London) と同じであった。そこには年に 25 名の患者が、私的美容手術がコンプライケーションを起こしたということで緊急入院する。

研究発表者は、私的美容外科医の誤った侵襲は NHS に二桁の百万の額の費用を掛けている(数千万ポンドという意味か?)。数年来英国では美容のために手術をする患者数が増えている、ポーランドなどの外国の病院が安いこともあって、毎年数千の患者が外国に旅行する。しばしばそこで低い資格の外科医によって手術が実施される。

ロンドン保健省は、その問題を調査しようと思っており、必要とあらば美容手術に対する新しい資格規定を導入すると通告した。